

# 農業共済事業特別会計

## 1 業務実績

各共済種目の業務量の前年度比較は、第1表の通りである。

### (1) 農作物共済

水稲共済引受は、戸数 2,277 戸(対前年度 50 戸増)で、面積 97,222 a (対前年度 1,553 a 増)、引受収量 3,234,884kg (対前年度 54,130kg 増)、共済金額 711,674,480 円(対前年度 21,450,862 円増)となっている。

被害は、被害戸数 379 戸(対前年度 320 戸増)で、被害面積 7,993 a (対前年度 7,247 a 増)、共済減収量 120,588kg (対前年度 112,947kg 増)、共済金支払額 26,529,360 円(対前年度 24,871,263 円増)となっている。大幅な増加の要因は、平成21年8月の台風9号被害によるものである。

麦共済の引受は、県農作物改良協会の割当による種子用麦のみの栽培であり、戸数 20 戸(対前年度 2 戸増)で、引受面積 2,517 a (対前年度 5 a 増)、引受収量 50,050kg (対前年度 2,871kg 増)、共済金額 9,590,324 円(対前年度 711,365 円増)となっている。

被害は、被害面積 129 a (対前年度 52 a 増)で、共済減収量 343kg (対前年度 382kg 減)、共済金支払額 72,716 円(対前年度 83,159 円減)となっている。

また、損害防止事業として、市が実施する野生動物防護柵設置事業補助金にかかる財源として農業共済事業水稲共済損害防止事業助成金交付要綱に基づき 2,620,000 円助成している。

第1表 業務量の比較

### 農作物共済

(単位：戸・a・kg・円)

共済目的	年産	引 受 状 況					被 害 状 況			
		戸 数	面 積	引 受 収 量	平均単収	共 済 金 額	戸 数	面 積	共済減収量	共済金支払額
水 稲	21	2,277	97,222	3,234,884	475	711,674,480	379	7,993	120,588	26,529,360
	20	2,227	95,669	3,180,754	475	690,223,618	59	746	7,641	1,658,097
	増減	50	1,553	54,130	0	21,450,862	320	7,247	112,947	24,871,263
	率	2.2%	1.6%	1.7%	0.0%	3.1%	542.4%	971.4%	1478.2%	1500.0%
麦	22	20	2,517	50,050	268	9,590,324				
	21	18	2,512	47,179	268	8,878,959	3	129	343	72,716
	20	20	2,103	41,511	282	8,924,865	3	77	725	155,875
	増減	2	5	2,871	0	711,365	0	52	△ 382	△ 83,159
	率	11.1%	0.2%	6.1%	0.0%	8.0%	0.0%	67.5%	-52.7%	-53.3%

麦については共済の引受期間が2年度にわたるため、21年度の引受状況に関する数値は22年産麦の数値で、21年度の被害状況の数値は20年度の引受に対するものである。

## (2) 家畜共済

乳牛の引受は、農家戸数が2戸(対前年度と変わらず)で、頭数は123頭(対前年度10頭減)、1頭当たり共済金額92,320円(対前年度7,116円減)となっている。

被害は、病傷事故が46件(対前年度39件減)で、共済金支払額が602,290円(対前年度666,730円減)、死廃事故が6件(対前年度11件減)で、共済金支払額が351,191円(対前年度1,318,071円増)となっている。

肉用牛(肥育)の引受は、農家戸数は7戸(前年度と変わらず)、頭数が1,058頭(対前年度206頭減)、1頭当たり共済金額が146,011円(対前年度13,429円増)となっている。

被害は、病傷事故が174件(対前年度89件減)で、共済金支払額が2,369,250円(対前年度821,660円減)。死廃事故が35件(対前年度10件増)で、共済金支払額が5,306,869円(対前年度2,870,212円増)となっている。

肉用牛(その他)の引受は、農家戸数は24戸(対前年度5戸増)、頭数が417頭(対前年度17頭増)、1頭当たり共済金額が140,929円(対前年度3,949円増)となっている。

被害は、病傷事故が146件(対前年度26件減)で、共済金支払額が1,494,440円(対前年度21,910円減)。死廃事故が14件(対前年度2件減)で、共済金支払額が1,481,762円(対前年度33,249円増)となっている。

一般馬の引受は、農家戸数1戸(前年度と変わらず)で、頭数が15頭(対前年度3頭減)、1頭当たり共済金額が100,000円(対前年度5,556円減)となっている。

被害は、病傷事故が3件(対前年度2件増)で、共済金支払額が43,600円(対前年度23,460円増)となっている。

また、一般損害防止事業として予防衛生薬剤の配布及び台風9号災害による宍粟死廃・病傷事故予防に609,420円、特定損害防止事業として県連合会へ委託し疾病等予防活動に572,330円を支出している。

## 第1表 業務量の比較

### 家畜共済

(単位 : 戸・頭・円・件)

共済目的	年度	引 受 状 況				被 害 状 況			
		戸 数	頭 数	共 済 金 額	1 頭 当 り 共 済 金 額	病 傷 事 故		死 廃 事 故	
						件 数	共 済 金 支 払 額	件 数	共 済 金 支 払 額
乳 牛	21	2	123	11,355,400	92,320	46	602,290	6	351,191
	20	2	133	13,225,000	99,436	85	1,269,020	17	1,669,262
	増減	0	△ 10	△ 1,869,600	△ 7,116	△ 39	△ 666,730	△ 11	△ 1,318,071
	率	0.0%	-7.5%	-14.1%	-7.2%	-45.9%	-52.5%	-64.7%	-79.0%
肉(肥 用 牛)	21	7	1,058	154,480,000	146,011	174	2,369,250	35	5,306,869
	20	7	1,264	167,583,732	132,582	263	3,190,910	25	2,436,657
	増減	0	△ 206	△ 13,103,732	13,429	△ 89	△ 821,660	10	2,870,212
	率	0.0%	-16.3%	-7.8%	10.1%	-33.8%	-25.8%	40.0%	117.8%
肉(そ の 他 牛)	21	24	417	58,767,200	140,929	146	1,494,440	14	1,481,762
	20	19	400	54,792,000	136,980	172	1,516,350	16	1,448,513
	増減	5	17	3,975,200	3,949	△ 26	△ 21,910	△ 2	33,249
	率	26.3%	4.3%	7.3%	2.9%	-15.1%	-1.4%	-12.5%	2.3%
一 般 馬	21	1	15	1,500,000	100,000	3	43,660	0	0
	20	1	18	1,900,000	105,556	1	20,200	0	0
	増減	0	△ 3	△ 400,000	△ 5,556	2	23,460	0	0
	率	0.0%	-16.7%	-21.1%	-5.3%	200.0%	116.1%	-	-

### (3) 畑作物共済

引受は、戸数 202 戸(対前年度 10 戸減)で、引受面積 6,988 a(対前年度 595 a減)、引受収量 44,860kg(対前年度 4,556kg 減)、共済金額 69,491,115 円(対前年度 7,337,979 円減)となっている。

被害は、被害戸数 66 戸(対前年度 41 戸増)で、被害面積 1,991 a(対前年度 1,300 a増)、共済減収量 5,349kg(対前年度 3,592kg 増)、共済金支払額 8,571,864 円(対前年度 5,802,832 円増)となっている。大幅な増加の要因は、平成 21 年 8 月の台風 9 号被害によるものである。

## 第1表 業務量の比較

### 畑作物共済

(単位 : 戸・筆・a・kg・円)

共済目的	年度	引 受 状 況				被 害 状 況				
		戸 数	面 積	引 受 収 量	平 均 単 収	共 済 金 額	戸 数	面 積	共 済 減 収 量	共 済 金 支 払 額
大 豆	21	202	6,988	44,860	87	69,491,115	66	1,991	5,349	8,571,864
	20	212	7,583	49,416	81	76,829,094	25	691	1,757	2,769,032
	増減	△ 10	△ 595	△ 4,556	6	△ 7,337,979	41	1,300	3,592	5,802,832
	率	-4.7%	-7.8%	-9.2%	7.4%	-9.6%	164.0%	188.1%	204.4%	209.6%

### (4) 園芸施設共済

引受は、戸数 25 戸(対前年度 1 戸減)で、引受棟数 65 棟(対前年度 7 棟減)、共済金額は

28,552,000 円（対前年度 3,222,000 円減）となっている。

被害は、被害戸数 6 戸（対前年度 1 戸増）で、棟数 6 棟（前年度と変わらず）、共済金支払額 156,588 円（対前年度 137,539 円減）となっている。

### 第1表 業務量の比較

#### 園芸施設共済

（単位：戸・棟・㎡・円）

共済目的	年度	引 受 状 況					被 害 状 況			
		戸 数	棟 数	面 積	共 済 価 格	共 済 金 額	戸 数	棟 数	損 害 額	共 済 金 支 払 額
プラスチックハウス 内作無し	21	25	65	14,550	28,552,000	22,808,000	6	6	196,376	156,588
	20	26	72	15,947	31,774,000	25,383,000	5	6	368,237	294,127
	増減	△ 1	△ 7	△ 1,397	△ 3,222,000	△ 2,575,000	1	0	△ 171,861	△ 137,539
	率	-3.8%	-9.7%	-8.8%	-10.1%	-10.1%	20.0%	0.0%	-46.7%	-46.8%

## 2 予算の執行状況

### （1）収益的収支

収益的収支の執行状況は、第2表の通りである。

収益的収入の合計は、予算額 112,980,000 円に対して、決算額は 102,686,842 円で、予算額に対して△10,293,158 円であり、その執行率は 90.9%となっている。

収益的支出の合計は、予算額 112,980,000 円に対して、決算額は 102,282,174 円で、不用額は 10,697,826 円であり、執行率は 90.5%となっている。

#### ① 収益的収入

農作物共済勘定では、予算額 30,741,000 円に対して、決算額は 30,085,828 円（執行率 97.9%）で、予算額に対して△655,172 円である。

家畜共済勘定では、予算額 21,107,000 円に対して、決算額は 17,251,577 円（執行率 81.7%）で、予算額に対して△3,855,423 円である。

畑作物共済勘定では、予算額 16,035,000 円に対して、決算額は 12,408,361 円（執行率 77.4%）で、予算額に対して△3,626,639 円である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,040,000 円に対して、決算額は 499,777 円（執行率 48.1%）で、予算額に対して△540,223 円である。

業務勘定では、予算額 44,057,000 円に対して、決算額は 42,441,299 円（執行率 96.3%）で、予算額に対して△1,615,701 円である。

#### ② 収益的支出

農作物共済勘定では、予算額 30,741,000 円に対して、決算額は 29,922,062 円（執行率 97.3%）で、818,938 円の不用額である。

家畜共済勘定では、予算額 21,107,000 円に対して、決算額は 17,251,577 円（執行率 81.7%）で 3,855,423 円の不用額である。

畑作物共済勘定では、予算額 16,035,000 円に対して、決算額は 12,222,527 円(執行率 76.2%)で、3,812,473 円の不用額である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,040,000 円に対して、決算額は 444,709 円(執行率 42.8%)で、595,291 円の不用額である。

業務勘定では、予算額 44,057,000 円に対して、決算額は 42,441,299 円(執行率 96.3%)で、1,615,701 円の不用額である。

第2表 収益的収支の執行状況

(単位：円・%)

区 分	収 入				支 出				当 該 年 度 純 利 益
	予 算 額	決 算 額	増 減	執 行 率	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率	
農 作 物 共 済 勘 定	30,741,000	30,085,828	△ 655,172	97.9%	30,741,000	29,922,062	818,938	97.3%	163,766
家 畜 共 済 勘 定	21,107,000	17,251,577	△ 3,855,423	81.7%	21,107,000	17,251,577	3,855,423	81.7%	0
畑 作 物 共 済 勘 定	16,035,000	12,408,361	△ 3,626,639	77.4%	16,035,000	12,222,527	3,812,473	76.2%	185,834
園 芸 施 設 共 済 勘 定	1,040,000	499,777	△ 540,223	48.1%	1,040,000	444,709	595,291	42.8%	55,068
業 務 勘 定	44,057,000	42,441,299	△ 1,615,701	96.3%	44,057,000	42,441,299	1,615,701	96.3%	0
合 計	112,980,000	102,686,842	△ 10,293,158	90.9%	112,980,000	102,282,174	10,697,826	90.5%	404,668

### 3 経営成績

#### (1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第3表の通りである。

全体で、収益 102,686,842 円に対して費用 102,282,174 円で、差引 404,668 円の当年度純利益を計上している。

前年度と比べると、収益は 25,955,604 円、費用も 31,753,682 円増加している。

勘定科目ごとに見ると、農作物共済勘定は、収益 30,085,828 円に対して、費用は 29,922,062 円で、163,766 円の当年度純利益となっている。

家畜共済勘定は、収益・費用とも 17,251,577 円で、当年度純利益はない。

畑作物共済勘定は、収益 12,408,361 円に対して、費用は 12,222,527 円で、185,834 円の当年度純利益となっている。

園芸施設共済勘定は、収益 499,777 円に対して、費用は 444,709 円で、55,068 円の当年度純利益となっている。

業務勘定は、収益・費用とも 42,441,299 円で、当年度純利益はない。

#### (2) 収 益

##### ① 事業収益

事業収益は 95,238,541 円で、前年度に比べ 26,446,082 円(38.4%)増加している。主に農

作物共済勘定の保険金 13,283,906 円 (2,929.2%)、畑作物共済勘定の保険金 5,222,549 円 (209.6%)、業務勘定の受取補助金 5,558,867 (27.2%) が増加したことによる。

② 事業外収益

事業外収益は 7,748,301 円で、前年度に比べ 490,478 円 (△6.2%) 減少している。

(3) 費用

① 事業費用

事業費用は 102,135,909 円で、前年度に比べ 310,607,417 円 (44.8%) 増加している。これは、平成 21 年年 8 月の 9 号台風の被害により、農作物共済勘定の共済金 24,788,104 円 (1,366.5%)、畑作物共済勘定の共済金 5,802,832 円 (209.6%) の増加によるものである。

② 事業外費用

事業外費用は、146,265 円 (皆増) で財産処分損である。

別表（第3表）

## 4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第4表の通りである。

### (1) 資産

資産総額は133,431,560円で、前年度末に比べ23,599,098円(△15.0%)減少している。

#### ① 流動資産

流動資産は131,756,426円で、前年度末に比べ24,575,875円(△15.7%)減少している。主に業務勘定において現金預金が20,469,917円(△33.3%)、各共済勘定から業務勘定への一時貸付金が9,857,061円(△13.4%)減少したことと、未収金が5,759,463円(27.1%)増加したことによる。

#### ② 固定資産

固定資産は1,675,134円で、前年度末に比べ976,777円(139.9%)増加している。

有形固定資産の減価償却費である。

### (2) 負債

負債は70,300,699円で、前年度末に比べ13,789,124円(△16.4%)減少している。主に業務勘定において、一時借入金が9,857,061円(△13.4%)、未払い金が3,888,111円(△71.2%)減少したことによる。

固定負債は全て業務引当金4,353,168円で、前年度末と同額である。

### (3) 資本

資本は63,130,861円で、前年度末に比べ9,809,974円(△13.4%)減少している。

剰余金は62,726,193円で、前年度末に比べ4,011,896円(△6.0%)減少している。内訳は、法定積立金が23,368,225円で、前年度末に比べ6,536,146円(△21.9%)増加し、特別積立金が39,357,986円で、前年度末に比べ2,524,250円(6.9%)増加している。

当該年度末処分剰余金は、404,668円となり、5,798,078円(△93.5%)減少している。



別表（第4表）

## 5 まとめ

決算の概要は前述の通りである。

本市の農業共済事業の事業規模は、水稻における水田農業構造改革の取り組みや、家畜及び園芸施設における農業経営者の高齢化や後継者不足等による資源の減少に伴い、縮小傾向にある。しかし、共済金額は 1,039,667 千円で前年度（1,038,861 千円）と比較し 0.1%（806 千円）増加で、前年並みの確保をしている。

一方被害の発生状況では、平成 21 年 8 月の台風 9 号被害により、共済金支払額は水稻で 26,529 千円（対前年度比 24,871 千円・1500.0%増）、大豆で 8,572 千円（対前年度比 5,802 千円・209.6%増）となっている。また、家畜においても、死傷事故で台風 9 号により 14 頭が流出し 7,139 千円（対前年度比 1,585 千円、21.6%増）と前年度を大きく上回る共済支払額となっている。施設においては、いずれも概ね前年度並みの共済金支払額となっている。

損害防止事業については、水稻及び家畜について実施し共済事故の低減に努められているが、さらに関係機関との連携を図り、病害虫発生状況等の情報提供など被害の未然防止の啓発に一層努められたい。

経営状況については、前年度と比べ純利益が 405 千円（対前年度比 5,798 千円、93.5%）と減少している。勘定別にみると、当該年度純利益は農作物共済勘定で 164 千円、畑作物共済勘定で 186 千円、園芸施設共済勘定で 55 千円で、農作物共済勘定と業務勘定では純利益はない。これにより、法定積立金と特別積立金は、全体で 4,011 千円の減となっている。平成 21 年 8 月の台風 9 号の被害状況を考慮すると、止むを得ないことと考えられる。

今後とも損害防止事業の推進等により健全な財政運営を図られるとともに、任意加入の推進を図り農業災害補償法の趣旨に添った加入者の利便性を高める損害補填の充実に努められたい。